

ウィリアム・ハート・キャスリーン・ターナー・ジーナ・デビス

世の中は男と女…人生は予期せぬ出来事。



THE ACCIDENTAL TOURIST

'89アカデミー賞/最優秀助演女優賞受賞
(ジーナ・デビス)

偶然の旅行者

ワーナー・ブラザーズ映画提供

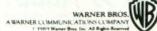
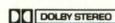
ウィリアム・ハート/キャスリーン・ターナー/ジーナ・デビス/ローレンス・カスタン作品「偶然の旅行者」

編集キャロル・リトルトン, ACE/美術ポー・ウェルチ/撮影ジョン・ベイリー, A.S.C./音楽ジョン・ウィリアムス/脚本フランク・ギャラティ&ローレンス・カスタン
原作アン・タイラー/製作総指揮フィリス・カーライル&ジョン・マルコビッチ/製作ローレンス・カスタン&チャールズ・オークン&マイケル・グリロ

監督ローレンス・カスタン

サウンドトラック CD / ワーナー・バイオシア / パナビジョン®

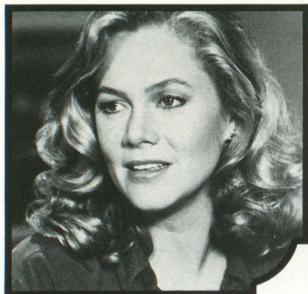
原作「アクシデンタル・ツーリスト」早川書房刊



機内持ち込みに、「常に本を携帯せよ、他人の干渉を防げる。雑誌は問がもたず、新聞は異国にゐる事を再認させる」

『偶然の旅行者』(メーコン・ラリー著)より

最近の映画の中でベストムービーのひとつ。すべてにおいて傑出している。L・カスダンが完璧な仕事をした。NBC-TV (ジーン・シャリット)



アメリカ映画界の実力派、ウィリアム・ハート、キャスリーン・ターナー、そしてローレンス・カスダン監督一 82年日本でも大ヒットした『白いドレスの女』のゴールデン・トリオが、再び顔を合わせた。今回はロマンチック・コメディに挑戦。またしても全米で大成功をおさめ、今年のアカデミー賞の作品賞、助演女優賞をはじめ、4部門にノミネートされた。



これまでで最も悲しいコメディのひとつ。ほんとうに悲しくて、映画を見ながら何度も笑ったり、見た後とてもいい気分で歩けるなんて読者は信じられないだろう。シカゴサンタイムズ (ロジャー・エバート)

原題「アクシデンタル・ツーリスト」とは、本当は旅なんかしたくないのに商用や出張など、旅をせざるを得ない人々のこと。主人公メーコン・ラリーは、そんな人々のためにガイドブックを書く。

不幸な事件から子供を亡くした彼は、妻にも去られ、空虚な思いに沈む日々を送っていた。今や、彼自身がさまよえる心の旅人 "ア

クシデンタル・ツーリスト" だった。そんな彼の前に、ある日風変わりな女ミュリエルが現れた。有能な犬の調教師である彼女の突飛的なライフスタイルは、殻に閉じこもっていたメーコンに刺激を与え、病んだ心の調教にも腕を発揮していく。ミュリエルと彼女の息子との交流は、メーコンの中に失われていたあたたかいものを徐々に甦らせていった。

最高の休日の贈りもの。申し分なく面白い。スタッフとキャストのアンサンブルが素晴らしい。彼らの芸術的腕はありとあらゆるものを持っている。

ロサンゼルスタイムズ (シーラ・ベンソン)

失意の旅行ライター、メーコンには、ウィリアム・ハート、『蜘蛛女のキス』(85)ではホモの囚人役でアカデミー賞主演男優賞を得、『愛は静けさの中に』(86)『ブロードキャストニュース』(87)と続けて同賞にノミネート。メーコンの妻サラには、キャスリーン・ターナーが扮し、『白いドレスの女』に続き、ハートとは二度目の共演になる。『白いドレスの

女』や『女と男の名誉』(85)では悪女、今回はごく普通の主婦役で、落ち着いた演技が印象に残る。風変わりな子持ちの犬の調教師ミュリエル役には、『ザ・フライ』(86)『ビートルジュース』(88)のジーナ・デビス。彼女の登場でドラマは一気にテンポアップ。今回の演技で1989年のアカデミー賞最優秀助演女優賞を得た。



今年度ベストテンのひとつ! 最高の出来だ。W・ハートは今絶頂にある俳優であり、G・デビスがすばらしい。ピープル誌 (ピーター・トラバース)

原作は、ピュリツァー賞受賞作家アン・タイラー。これをカスダンがフランク・ギャラティと共同で脚色し、製作、監督と3役をこなしている。初監督作品『白いドレスの女』で上質のサスペンス・ミステリーを見せてくれた彼だが、今回は同じキャストながら全く違ったタイプの作品。笑いの中にも、自分を逞しく変革していく一人の男の内面をしっかりと見据え、その変化を手際よく浮き彫りにしている。

撮影は、『普通の人々』(80)『アメリカン・ジゴロ』(80)のベテラン、ジョン・ベイリ

一。カスダン監督とは『再会の時』(83)『シルバラード』(85)に次いで3度目の仕事となった。音楽は、『スター・ウォーズ』(77)『E.T.』(82)のジョン・ウィリアムス。

また、『太陽の帝国』(87)『危険な関係』(88)に出演している俳優、ジョン・マルコビッチがエグゼクティブ・プロデューサーに名を連ねているのも話題。さらにメーコンの愛犬エドワード役には、小型番犬ウォルシュ・コーギー種の「パド」が抜擢され、人食った名犬技を見せている。(上映時間2時間1分)

STAFF

監督ローレンス・カスダン
製作ローレンス・カスダン
 チャールズ・オークン/マイケル・グリロ
脚本フランク・ギャラティ
 ローレンス・カスダン
原作アン・タイラー

CAST

メーコンウィリアム・ハート
サラキャスリーン・ターナー
ミュリエルジーナ・デビス
ローズエイミー・ライト
ポーターデビッド・オグデン・スティアース
エドワード(犬)パド

10月下旬よりロードショー

銀座テアトル西友

キネカ大森

特別鑑賞券は都内各プレイガイド、チケット・センソ、チケットぴあ、セリノ系各劇場他でお求め下さい。特別鑑賞券1,300円 (当日一般1600円・学生1300円)

銀座線京橋駅下車 2番出口上がる ☎03(535)6000

J R大森駅東口・西友5F 自由定員制・入替制 ☎03(762)6000

連 日 11:45 2:10 4:35 7:00

連 日 11:20 1:50 4:20 6:50 土・祝前 @ 9:20